

広報ぬまた Numata 3

2026.3.19
Vol.688

ふるさとへの誇りを胸に



3/5 夜高あんどん祭りの半纏を贈られた中学3年生

今月の主な内容

- ★キャンパスライズプロジェクト 2
- ★輝け雪のまちフェスタ・・・ 4
- ★まちレポ・・・ 5
- ★沼田警察庁舎から・・・ 10
- ★沼田消防から（消報）・・・ 11
- ★ふれあいインフォ・・・ 12
- ★生涯学習ゆめっくる・・・ 13
- ★図書館バックヤード・・・ 14
- ★地域おこし協力隊活動新聞・・・ 15
- ★まちの話題と人の動き・・・ 16



JRに乗り続け隊サポーターを募集しています！
JR留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。
■お問合せ 産業創出課 ☎35-2155



目標金額を達成!

全国の大学生を救う!

“キャンパスライス”プロジェクト

沼田町は、物価高・米不足の影響によって、生活が困窮している全国の大学生に「雪中米」を贈るため、10月10日から12月31日までの83日間、「キャンパスライスプロジェクト2024」をふるさと納税の仕組みを活用したクラウドファンディングで実施しました。

全国の大学生1600人を応援するために、寄附を募ったところ、多くのご支援をいただき、全国から391件1千150万2千円の寄附（ふるさと納税）が集まり、応募のあった全国の大学生1715人に雪中米「ななつぼし」無洗米2キロを送ることができました。

寄附者からは「美味しいお米をみんなに届けてください!」「若い人たちがずっと希望を持っていられるよう願います」など多くのメッセージが添えられていました。また雪中米を受け取った大学生から、X（旧ツイッター）やインスタグラムなどのSNSを通じ、雪中米が届いた様子と感謝の言葉が投稿されておりますので、その一部を掲載させていただきます。

クラウドファンディング結果

■ 寄附募集期間

10月10日から12月31日 83日間

■ 寄附件数 391件

■ 寄附金額 11,502,000円

■ 発送大学生 1,715人

■ 発送品

雪中米「ななつぼし」無洗米2キロ・町長直筆メッセージ・寄附者名（希望者のみ）・寄附者からのメッセージ・雪中米紹介文 等



寄附してくださった皆様です

※氏名等の掲載の承諾を得た方のみ掲載しています

土岐剛平 様、sora 様、寺岡工務株式会社 様

ほか388人

SNSで寄せられた学生の皆さまからのメッセージ



■ mium_iu322 さん

北海道沼田町より雪中米ななつぼしをいただきました

クラファン寄付者の皆様、沼田町関係者の皆様、そして生産者の皆様ありがとうございます。

このお米は沼田町の豊富な雪解け水を使った緑豊かな田園で栽培されているそうです！

今から食べるのが楽しみです
美味しく頂きたいと思います

■ rin.pres さん

北海道沼田町の『キャンパスライスプロジェクト』を通じて雪中米をいただきました

このプロジェクトは大学生に食糧支援として沼田町の美味しいお米を届けてくださるというものです

プロジェクトに賛同してくださった方、沼田町の皆さん本当にありがとうございます。

昨年も応募させていただき2年連続でご支援をいただくことができ本当に感謝しています。

来年度から社会人となるので今度は自分が支援できる立場になれるよう頑張ります

■ はやずいりょう さん

人の優しさで生きていることを実感した…

経済的に自立した大人になったら、今度は自分が寄付する側になりたいものです。

寄付してくださった方々と、このプロジェクトに関わる全ての方々に感謝を！

今回掲載したメッセージ以外にも多数のメッセージを頂いております。各SNSで「#キャンパスライスプロジェクト」で検索いただくとご覧になることができます。

企業版ふるさと納税のご寄附をいただきました

企業版ふるさと納税をいただいた企業様をご紹介します。

なお、公表についてご了承いただいた企業様のみ掲載しております。(敬称略)

会社名	所在地	寄附いただいた事業	寄附額
北央道路工業株式会社	札幌市	夜高あんどん継承事業	-
こぶし建設株式会社	岩見沢市	夜高あんどん継承事業	-
ホクレン農業協同組合連合会	札幌市	ぬまたアグリファーム運営事業	100万円
エヌユーコンサルタント株式会社	旭川市	そらち自然学校・ワーケーション拠点施設運営事業	-
令和6年度企業版ふるさと納税寄附総額			885万円



輝け雪のまちフェスタ2025

輝け雪のまちフェスタ
2025（下保裕樹実行委員長）
が2月22日（土）沼田町役場裏
特設会場で開催されました。

会場には、子ども達に大人気
の巨大滑り台、薪割り体験や焚
火での焼きマシユマロなどが体
験できるそらち自然学校ブース
のほかロータリー除雪車など
「冬の働く車」が展示され、雪
と戯れる子ども達の歓声が響き
渡りました。

また、屋台ブースには、沼田
町の特産品を使った「冬のグル
メフェア」として、地域おこし
協力隊による絶品グルメや「幻
の黒毛和牛まん」が限定販売さ
れました。

午後からはスノーフラッグや
くじ引きリレーが行われ、子ど
も達は雪に負けじと会場を走り
回り、自分の欲しい玩具などの
景品を持ち帰り、冬の日を楽
しみました。



1/ 開拓130年記念事業

26 TAKAHO CUP スノーボード GS

開拓130年記念 TAKAHO CUP スノーボード GS (TAKAHO CUP 実行委員会主催) が1月26日(日) ASHIMOI KANKO 高穂スキー場で開催され、道内外から37名のスノーボーダーが参加されました。GS (ジャイアントスラローム) とは、アルペン競技の一種で、ゲートの間を滑り抜け、いかに早くゴールできるかを競うスポーツです。

今大会では、ソフトブーツとアルペンの2種目を年代別の男女8部門に分かれ、出場者は各々が培ってきた技術を駆使し、合計タイムを競い合い、入賞者には雪中米やトマトジュースなど町の特産品が贈られました。



1/ 環境問題についてたくさん学びました

27 カネカ環境教育プログラム Green Planet

株式会社カネカ(菅原公一代表取締役会長)が Green Planet を活用した環境教育プログラムを沼田小学校(吉田純一校長)5年生・6年生の計31名を対象に実施されました。

地方創生包括連携協定を締結している株式会社カネカの協力により、環境教育プログラムが実施され、生活に欠かせないプラスチックと環境問題について考え、地球環境を守ることの大切さを学びました。

授業終了後は、100%バイオマス由来のポリマーである「カネカ生分解性ポリマー Green Planet」で製造されたストローが全校児童に提供され、給食時の牛乳を飲む際に口当たりを体験するなど、とても貴重な時間となりました。



1/ 沼田町の魅力をお伝えします！！

29 沼田町視察ツアー

「沼田町視察ツアー」が1月29日(水)～31日(金) 昨年に続いて実施され、遠くは海外に本社を置く企業など計5社が参加されました。

この視察ツアーは、産業振興と雇用の場の創出を行う企業誘致の一環で、沼田町への進出に興味を持つ町外企業の経営者らを沼田町に招き、沼田町の魅力を肌で感じていただくために行われています。

参加者は、暮らしの安心センターなどの施設見学のほか、そらち自然学校でのアクティビティ体験や町内企業を訪問され、企業進出に向けたイメージを深めていただきました。



2/7 地域の温かさが詰った素敵な贈り物です JA北いぶき女性部沼田支部からタオルの贈呈

J A北いぶき女性部沼田支部(田坂智恵美支部長)の役員4名が2月7日(金)沼田町役場を訪れ、町にタオル60枚の寄贈をしていただきました。

この活動は、地域貢献活動の一環として毎年行われており、タオルを寄付することで地域住民の生活を少しでも豊かにしたいという役員の方々の温かい思いが込められています。

タオルを受け取った横山町長は「今年もありがとうございます。介護施設などで大切にに使わせていただきます」とお礼を述べました。タオルは、和風園や旭寿園等の施設で使わせていただきます。



2/8 冬の留萌線にキャンドルが灯ります 留萌本線エキアカリ

千個のアイスキャンドルやスノーキャンドルが駅のホームを照らす「留萌本線エキアカリ」が2月8日(土)JR留萌本線の石狩沼田駅から北一己駅までの4駅で開かれました。

2026年3月末に廃止されるJR留萌本線の駅舎を観光資源として活かそうと、深川市、秩父別町、沼田町の地域おこし協力隊が企画し、駅のホームは綺麗なキャンドルの灯りに包まれました。

石狩沼田駅を訪れた方々は「綺麗なキャンドルが見れて嬉しいです。これからいっぱい写真を撮ります」と笑顔で話されました。

また、駅構内では下車された乗客の方々に到着証明書がプレゼントされたほか、デジタルスタンプラリーの実施や数量限定で豚汁やカイロが無料配布され、身も心も温まるひとときとなりました。



2/9 元五輪選手が登場 第75回町民スキー大会

沼田町スポーツ協会(伊藤淳会長)が主催する「第75回町民スキー大会」が2月9日(日)ASHIMOIKANKO高穂スキー場で開催され、今年(かとうたいへい)はノルディック複合の元五輪代表、加藤大平さんが特別ゲストとして参加され、その華麗な滑りで会場を沸かせました。

大会は、大回転競技(スキー・スノーボード)で組別ラップ(2本のタイムが速い方が上位)と個人タイム差(2本のタイムの差が少ない方が上位)の2部門で競い合いました。

午後からは、N-Linkによる、「大人の雪中バー&運動会」やスキー・スノーボードの無料レッスンが行われ、大人も子どもも様々な形でウィンタースポーツを楽しみました。



2/ 開拓130年記念事業 11 エンジョイ!スノースポーツ in TAKAHO

沼田町開拓130年記念事業として、スキー競技のモーグル選手として活躍し、2016年全日本選手権大会優勝者の梶原干裕さんと2018年平昌オリンピック日本代表でハーフパイプ選手として活躍された松本遥奈さんの2名を招き、スキー・スノーボード教室が2月11日(火)開催され、計18名が参加しました。

参加者は、梶原さんと松本さんから滑る際の姿勢や重心の掛け方などの直接指導を受け、頂上からの滑りを存分に楽しみました。

教室終了後にお二人からは「皆さんには、これからもたくさんスキー場に足を運んでいただき、スノースポーツを楽しんでほしいです」と笑顔で話され、最後は記念撮影するなど、参加者にとって思い出に残る貴重な一日となりました。



2/ 部員みんなで協力して除雪しました 20 クラーク記念国際高野球部除雪ボランティア

クラーク記念国際高等学校野球部の部員10名が、地域貢献活動の一環として、旭町地区に所在する高齢者住宅の除雪ボランティアを行なっていただきました。

沼田町の降り積もる雪に苦勞する住民の方々のために、部員たちは重い雪をスコップで運び、汗を流しながら一生懸命に除雪を行いました。

部員たちは「積った雪を除雪することで、ご高齢の方々にとたくさん太陽の光を浴びてほしいですし、少しでも地域に貢献できれば嬉しいです」と笑顔で話されました。クラーク記念国際高等学校野球部の皆さん、ありがとうございました!



2/ 地域と認知症について考える 21 認知症フォーシーズン「冬」

沼田町で学ぶ認知症教室フォーシーズン「冬」が2月21日(金)開催されました。

同教室では「認知症と沼田町～認知症サポーター研修会～」と題して沼田町地域包括支援センター(保健福祉課)山下広大主査による講演が行われ、認知症の症状や種類、認知症の方との接し方など、多岐にわたる内容が説明され、参加された方は熱心に耳を傾けていました。

講演後には、認知症に関する正しい知識を持ち、温かく見守る「認知症サポーターカード」が参加された方全員に渡されました。



2 / **26 北海学園大学着地型観光成果発表会**

ピザ作りとバズり体験！町観光ツアーを提案

地域活性化に関する包括連携協定を結んでいる北海学園大学の経済学部地域経済学科の濱田^{はまたただし}教授ゼミ所属の学生22人が、2月26日（水）着地型観光の成果発表会を開催されました。

学生は、トマトケチャップを使用したピザを窯で焼く「ピザ作り体験」とツアー参加者が明日萌駅などを撮影した動画をSNSで発信する「バズり体験ツアー」の2種類を提案されました。「バズり体験ツアー」では、再生回数が多い投稿者には、特典を付けるなどのアイデアも説明され、参加者は興味深く話を聞いていました。



3 / **5 中学3年生への町長講話・卒業記念半纏贈呈**

ふるさとからの贈り物

卒業を迎える沼田中学校（里舘幹彦校長）3年生（14名）に、卒業記念として地域文化の象徴である夜高あんどん祭りの藍染の半纏とそれぞれの名前が彫られた木札が贈呈されました。

この取組みは、卒業生と地域との繋がりを深めることを目的とし、卒業生がいつでもふるさとを思い出し、地域との絆を感じられるようにと願いが込められています。

横山町長からの講話では、「卒業後は色々な経験をしていくと思いますが、辛い時はふるさと”沼田町”を思い出してください。また、目標に向かって諦めずゆっくりと進み、一度しかない人生を楽しんでください」と生徒たちに伝えました。

贈呈後は記念撮影が行われ、生徒たちは半纏に袖を通し、ふるさとへの誇りを胸に刻みました。



高田 勲氏を監査委員に選任

令和3年1月30日から4年間、町の代表監査委員であった中村保夫^{なかむらやすお}氏の後任に、高田勲^{たかだいさお}氏が選任され、横山町長から選任証書が手渡されました。

監査委員は、地方公共団体等の財務や事業の監査を行う機関として各自治体等に設置されており、沼田町の事務局は役場3階の議会事務局にあります。

高田氏は4期16年の沼田町議会議員の豊富な経験を活かし、これから4年間活動していきます。



ぬまたっ子、スポーツで大活躍！

小学生ミニバスケットボール道北大大会出場！

2月1日（土）、2日（日）当麻スポーツセンターで開催される第3回北海道ブロックミニバスケットボール道北大大会出場のため、「ソルベルテMBC」メンバーである沼田小学校（吉田純一校長）児童4名が沼田町役場を訪れました。

「ソルベルテMBC」は沼田町、秩父別町、妹背牛町の3町から集結した合同バスケットボールクラブです。

チームメンバーを代表して沼田小学校6年生上野快さんが「チーム一丸になって優勝を目指します」と力強く話し、横山町長は「日頃の練習の成果を思う存分発揮し、優勝目指して頑張ってください。期待しています」と激励されました。



渡辺選手 小学生バレーボール全道優勝、全国準優勝

深川J Bに所属する沼田小学校4年生の渡辺悠乃さんが、昨年12月に愛媛県で開催された第22回全国スポーツ少年団バレーボール大会で準優勝、1月に北海道江別市で開催された第41回北海道小学生バレーボール選抜優勝大会で優勝され2月21日（金）沼田町役場を訪れました。

渡辺さんは、「目標だった全国1勝を達成することができましたが、優勝することができなかつたので、次は優勝したいです」と話され、横山町長は「日頃の練習の成果が結果に繋がっている。今度は全国優勝できるように頑張ってください」と激励の言葉を贈りました。



全日本パワーリフティング選手権大会出場！

令和7年2月22日（土）～24日（月）まで、滋賀県栗東市民体育館で開催された全日本パワーリフティング選手権大会「第30回サブジュニアクラシック部門」へ出場した馬狩柊斗選手（深川西高校2年）が59kg級で大会2連覇に加え日本記録更新し世界大会への参加権を獲得、松尾泰希選手（旭川南高校2年生）が53kg級で5位入賞と2人の沼田っ子が輝かしい成績を収めました。

馬狩選手は「周りの人に支えられて出せた結果だと思っています。これからも松尾選手と共にもっと上を目指して頑張っていきます」と話し、松尾選手は「初めての大会でいい経験ができました。次は今回以上の成績が出せるように、馬狩選手とたくさん練習を頑張ります」と力強く話しました。



沼田町監査委員より定期監査の報告

去る、2月5日から7日までの3日間、沼田町監査委員による、沼田町の令和6年度会計（4月1日～12月31日まで）の定期監査を行いました。

これは、地方自治法第199条の規定より、町の事務・事業の執行状況とともに町のお金が住民のために最小限の経費で最大の効果を上げるよう効率的に使われているかを監査したものです。

監査の結果、事業の執行及び財務事務等全般については、適正に執行されていると認め、報告いたします。

沼田町代表監査委員 高田 勲
沼田町監査委員 長野 時 敏



深川警察署

沼田警察庁舎あんぜん広場

☎ 35-3110



北海道警察官 まもなく募集開始

採用予定人数

250名程度 男性A区分 140名程度、男性B区分 40名程度
女性A区分 50名程度、女性B区分 20名程度

受験資格

【学歴】

A区分～学校教育法による大学（短期大学を除く。）等を卒業した者
（令和8年3月末日までに卒業見込みの者を含む。）

※高度専門士の称号を取得又は令和8年3月末日までに取得見込みの者を含む

B区分～A区分以外の者（学校教育法による高等学校在学中の者を除く。）

【年齢】

平成5年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた者
（令和8年4月1日現在で18歳以上33歳未満）

除雪作業中の事故が多発

適切な時期の冰雪下ろし

冰雪が屋根からせり出している軒下は危険なので近づかないようにしましょう。

屋根から冰雪が落下する危険性がある場合は、看板やロープ等を設置し、歩行者に注意を促しましょう。

複数による屋根の雪下ろし

雪下ろし作業をするときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、ヘルメットや命綱を装着しましょう。

除雪機による作業事故の防止

除雪機を使用するときは、作業に適した服を着用し、エンジンを掛けたまま雪詰まりを取り除くことはやめましょう。



犯罪の発生状況（令和7年1月末現在）

町内における犯罪件数

	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	わいせつ犯	その他	合計
令和7年	0	0	0	0	0	0
令和6年	0	0	0	0	0	0

交通事故の発生状況（令和7年1月末現在）

町内における交通事故件数

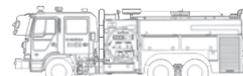
人身事故		物損事故	
令和7年	0	令和7年	4
令和6年	0	令和6年	4

詐欺電話が来たら、「#9110」まで、ご相談ください。



消 報

深川地区消防組合深川消防署
沼田支署予防担当 ☎ 35-2050



令和7年3月24日深川地区消防組合119番一元化運用開始！！

令和7年3月24日より沼田町内における一般電話、携帯電話からの119番通報は、深川消防署「**消防指令センター**」にて受け付けるようになります。

119番通報の方法は今までと変わりありませんが、**沼田消防支署職員が受け付けすることがなくなります。**

住所を伝える際には行政区名ではなく正しい住所で！

- ・「沼田町南〇条〇丁目〇番〇号 〇〇宅」
- ・「沼田町字〇〇 〇〇番地 〇〇宅」
- ・「沼田町」と必ず通信員にお伝えください。

出動体制は今までと変更はなく、沼田消防支署より出動します。

令和7年3月24日から**消防車**が出動した場合、災害案内で**出動した内容**を知ることができます。119番や沼田消防支署には電話せずに災害案内にてお問合せをお願いします。沼田町公式ホームページにも災害案内電話番号を掲載します。

※救急車の出動は案内されません。

災害案内 TEL : 050-5533-8195

119番通報は「**あわてず落ち着いて、正確に通信員にお伝えください**」

沼田町
防火標語

住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。
『**火の用心 「後で」と「今」で 変わる未来**』



令和6年度 住民健診の精密検査はお済みですか？

検診を受診した後、「異常あり」の状態を放置していませんか？例年、精密検査対象になった約80%の方が病院を受診、残りの約20%の方は未受診です。

自覚症状がなくても、病気の早期発見、早期治療のため、精密検査が必要となった場合には、必ず病院を受診しましょう。

精密検査の対象になる割合

- 異常なし
- 要精密検査

検診を受けて精密検査の対象になる割合は **2～8%** です。

精密検査を受診する人

- 受診済み
- 未受診

約 **20%** の人は未受診…

約 **71～93%** の人が精密検査を受診します！

沼田町では どうでしょうか？	令和6年度精検受診率 (※令和7年1月時点)	精検受診率 (全国平均)	がんが 見つかった人
胃がん検診	42.9%	84.4%	1.8%
大腸がん検診	41.4%	69.9%	2.8%
肺がん検診	76.9%	82.5%	1.7%
前立腺がん検診	50.0%	—	—
子宮頸がん検診	対象なし	77.6%	1.2%
乳がん検診	50.0%	89.9%	5.3%

※全国的にみると精密検査を受診した方100人のうち1～5人にガンが見つかっています。精密検査を受けることが早期発見につながります。

まだ精密検査を受診していない方は、早めに受診しましょう。病院を受診される際には、健診結果一式をご持参ください。(精密検査はがきや手紙等を紛失された方は、保健福祉課健康グループまでご連絡ください。)

経過観察(3か月後、6カ月後) 対象の方も、時期が近づいたら忘れずに受診しましょう。



令和6年度 あいさつ運動における ポスター・標語コンクール作品紹介

生涯
学習

ゆめつくる

■ポスター部門

沼田学園学校運営協議会主催のコンクールが今年度も開催され、多くの児童・生徒さんから作品が寄せられました。各学年の金賞作品をご紹介します。



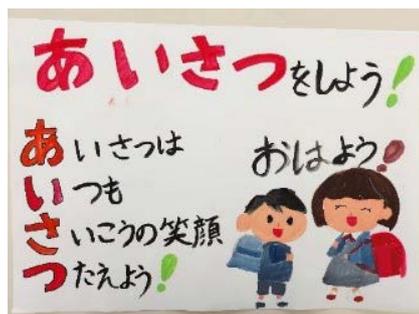
小学1年生部門 あぶらや ななせ
油谷 七瀬さん



小学2年生部門 かみやま みじゅ
神山 心柊さん



小学3年生部門 おおまち みお
大町 美緒さん



小学4年生部門 やました きいな
山下 来夏さん



小学5年生部門 たかはし さきな
高橋 咲菜さん



小学6年生部門 いちのへ ゆあり
一戸 結愛里さん

■標語部門

『はきはきと 明るい挨拶 笑顔咲く』

中学1年生

のぼり
昇

ひろむ
啓夢さん

『思いやり 優しい気持ち 届けよう』

中学2年生

やました
山下

めいか
芽夏さん

『こんにちは！ 言葉で広がる 笑顔の輪』

中学3年生

ただ
多田

みさき
心咲さん

【ポスター・標語コンクールの目的】

最近では地域のつながりが希薄になっていると言われていています。「個」を大事にする風潮の中でも、せめて『あいさつを交わせる関係性』は維持していただきたいものですね。

本コンクールは、日頃あまり意識していないあいさつの重要性を再認識することを目的としています。

作品は役場庁舎、生涯学習総合センター「ゆめつくる」、健康福祉総合センター「ふれあい」、暮らしの安心センター、観光情報プラザ、まちなかほっとタウン、JR石狩沼田駅に約1年間掲示いたします。また標語部門の入賞作品は次年度広報内でもご紹介いたします。

お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課 ☎35-2132

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



図書館には、貸出本だけではなく、館内利用のみの本も置いてあることをご存じですか？

まずは、^{きんたいしゅつ}禁帯出シールが貼ってある本です。辞書や郷土資料などがこれにあたりますが、禁帯出の本については、館内でのみ利用することができます。

この他にも実は館内利用のみの本があります。それは、図書館のおはなしコーナーに置いている絵本です。音が鳴るものや仮面になる絵本など様々なものがありますが、おはなしコーナーの中で楽しんでもらうために置いてある本であることから、貸出することができない本となっています。

ただ、おはなしコーナーにある絵本の全てが貸出することができないのではなく、大型絵本や紙芝居など、貸出することができる本もあります。

館内利用のみの本の最後は、雑誌の最新号です。図書館にある雑誌は、バックナンバーに限り、貸出可能ですが最新号については館内利用のみとなっています。最新号が発行されると貸出可能になるため、すぐに借りられるよう予約している方も多いです。

図書館でゆっくり過ごしたい時、ぜひおはなしコーナーの絵本や雑誌の最新刊をご覧ください。



新刊図書

《一般書》

デートピア	安堂 ホセ
うそコンシェルジュ	津村記久子
藍を継ぐ海	伊与原 新
飽くなき地景	荻堂 顕
四つの白昼夢	篠田 節子
炭鉱の唄たち	前田 和男
海外旅行のためのスマホ快適ナビ	

リンクアップ

《児童書》

あける	はらぺこめがね
りょこうにいこう！	五味 太郎
オニガシマラソン	トロル
ルビとたいせつな宝もの	野中 柊
きゅうしょくたべにきました	

シゲリカツヒコ

新刊図書おすすめ!!



『恋とか愛とかやさしさなら』

著者：一穂 ミチ

出版社：小学館

第171回直木賞受賞後、第一作。

カメラマンの新夏は交際5年目の啓久に、東京駅の前でプロポーズされる。その翌日、啓久は通勤中に女子高生を盗撮して警察に捕まってしまった。出来心だったもうやらないという啓久に、葛藤する新夏だったが……。

繊細な描写が心にささる恋愛小説です。

家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。

http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php



地域おこし協力隊 活動新聞

担当 映像クリエイト推進員 城下 孝
(住民生活課 移住定住応援室)
☎ 35-2115

こんにちは。「広報ぬまた」に引っ越してきた『地域おこし協力隊 活動新聞』です！ここではふだん私たちが町内でしている活動を毎月一回、町民の皆さんにお伝えします。どうぞよろしくお願い致します！

今回は、ほろしん温泉の調理支援員二人をご紹介します。

まずは老舗の料亭やホテルを経て去年2月に札幌から沼田に移住した米屋元広隊員です。

「レストランせせらぎ」料理長として宿泊者の料理を考案し、宴会の献立を企画する厨房のリーダーです。

Q. 料理で大事にしていることは？

「語り切れないほど無限にあります！」

Q 沼田町では？

「一人一人の為の料理人でありたいです」

Q 趣味は？

「金魚とメダカを眺める事。エビもいますよ」

ひと言：皆様のほっぺが落ちて幸せにするよ～



ほろしん温泉 料理長

よねや もとひろ

米屋 元広 隊員 (54)



次に、米屋さんとは旧知の間柄の鈴木一史隊員です。

鈴木さんは洋食のスペシャリスト。料理長 米屋さんと同じ札幌から去年4月に着任しました。

Q. 料理で大事にしていることは？

「気遣い、心遣いです」

Q 沼田町では？

「町の特産品を料理に反映したいです」

Q 趣味は？

「スキー、釣りなど」

ひと言：人のことを大事に。です！



ほろしん温泉

すずき かずふみ

鈴木 一史 隊員 (53)

**二人が作るお料理は旅行情報の雑誌『じゃらん』でも高ランキングをキープ中！
宿泊、宴席などではどうぞお気軽に、二人にお声掛けください！！**

あいさつ運動における ポスター・標語コンクール表彰

沼田学園学校運営協議会（松田剛委員長）が主催する「あいさつ運動におけるポスター・標語コンクール」の入賞作品表彰式が沼田小学校・中学校で行われました。

今年も「町民にあいさつの大切さを呼びかけるポスター・標語」をテーマにたくさんの応募がありました。

表彰式で松田委員長は「入賞された皆さんおめでとうございます。あいさつはたくさんの方が明るくなる大切なことですので、誰に対しても笑顔であいさつをしましょう」と話され、入賞者に表彰状と図書カードが手渡されました。



ほろしんエリアで冬を満喫

ほろしんキッズフェスティバル

ほろしんエリア魅力向上委員会の4団体（ほろしん温泉、化石体験館、そらち自然学校、ほたるの里オートキャンプ場）が主催する冬イベント「ほろしんキッズフェスティバル」が2月23日（日）開催されました。

会場では、雪そり遊びをはじめ、薪割り・焚火体験、ほたる学習館では、こはく探し体験などのイベントが行われたほか、お汁粉やトマトリゾットなども販売され、こどもたちは「いろんな遊びができて楽しいです」と充実した様子で話しました。

イベント終盤には、会場に突如雪の神が現れ、こどもたちにプレゼントが手渡されるなど笑顔の絶えない素敵な一日となりました。



人の動き

（令和7年2月28日現在）

人口	2,780人	（前月比	1人）
男性	1,339人	（前月比	1人）
女性	1,441人	（前月比	0人）
世帯数	1,434世帯	（前月比	1世帯）
■総人口増減内訳			
増加）転入：	5人	出生：	1人
減少）転出：	2人	死亡：	3人

交通事故死ゼロ

（令和7年2月28日現在）

4,618日継続中!!

野 出
耀斗^{あきと}
くん 児
2月5日 誕生月日
保護者の名前
範幸さん・華奈江さん

うぶごえ

氏名	性別	誕生月日	死亡月日	年齢	住所
馬淵 昌春さん	（男）	3月5日	3月5日	72歳	北竜1
川邊 幸男さん	（男）	3月5日	3月5日	84歳	共成
佐藤 広海さん	（男）	3月1日	3月1日	67歳	旭町西
米田 完美さん	（男）	2月11日	2月11日	70歳	旭町東
吉田 悦子さん	（女）	2月8日	2月8日	85歳	旭町東
井上 由紀子さん	（女）	1月22日	1月22日	68歳	旭町東

おくやみ